

青少年育成だより

発行 塩尻市青少年育成センター

電話 52-0894



12月の活動日誌から ～各班の活動紹介～



12月6日(水)北小野 13 班

今日は両小野中学校の通学路の見守りを行いました。昨日までの寒さから一変、とても暖かい一日でした。生徒数が少ないため、学校近くの交差点に絞って見守りを行いました。ほとんどの生徒が小野方面へ下校していきましたが、グリーンベルトが狭いため、複数で下校する場合に車道にはみ出して歩いている姿が見られました。また、交差点や横断歩道でも慣れた道であるためか、安全確認が不十分な印象を受けました。「気を付けてね」と声を掛けると、しっかり返事をして「さようなら」と全員があいさつを返してくれました。

12月7日(木)塩尻東 4 班

下校時の通学路の見守りをしました。仲町公民館前は見通しが悪く、危ないと感じました。ヤマコの南の交差点2箇所は、車の通りは少ないのですが、斜め横断が見られました。下校する子どもたちからは元気よくあいさつが返ってきました。

12月13日(水)洗馬 9 班

洗馬小学校の集団下校日だったため、PTAの方々と共に付き添い下校を行いました。元町、上組方面は、奈良井医院を過ぎると急に道幅が狭くなるため注意が必要でした。また、その後県道と合流すると、道幅は広がりますが交通量も増えるため、「車来るよ」と声を掛けながら付き添いました。道路反対側に自宅がある児童は、横断の際横断歩道がない場合が多く、日頃からの安全確認が必要だと感じました。

12月15日(金)宗賀 11 班

宗賀小学校児童の床尾・小井戸方面へ下校する児童に対し、付き添い下校を行いました。道路の横断箇所では、通行車両が停止してくださり、安全に渡り終わり、元気に「さようなら」と言って家路に向かっていきました。



12月15日(金)宗賀 12 班

11班と合同で4コースに分かれ、集団下校に付き添いながら見守りを行いました。通学路自体には危険と思われる所はありませんでした。国道沿いの通学路は広い歩道でしたが、風が強かったためトラックからの水しぶきが飛んできました。別れる際、「おじさん、気を付けて帰ってね。」と反対に温かい言葉をかけてくれる子がいました。

12月21日(木)吉田 8 班

寒さの厳しい中ではあったが、今年度最後の活動となる下校見守りを実施した。寒さにも負けず、児童たちは元気よく下校していた。吉田小東側の、職員や業者の通用門の車の出入りが多く、近くに横断歩道のない道を通学路として通るため、引き続き注意喚起するとともに、学校とも共有し注意、指導をいただく。

1/17は「防災とボランティアの日」です

令和6年1月1日に石川県能登地方を震源とする最大震度7の地震が発生し、日本海側を中心に甚大な被害を及ぼしています。長野県内でも中部地方では震度4を観測し、地震の揺れに驚かれた方も多いのではないのでしょうか。

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災を契機に、毎年1月17日を「防災とボランティアの日」と決めました。地震への備えとして

- ◆ 家具の転倒防止や家の耐震対策をする
- ◆ 食料・水・薬など非常用品をそろえておく
- ◆ 危険箇所や避難場所の確認をする
- ◆ 被災した際の連絡方法を家族で決めておく
- ◆ 地域の防災訓練に参加する

など、防災について**家庭**や**地域**で日頃から話し合う機会を持ちましょう。災害時には「**自助**」と共に、地域コミュニティでの相互の助け合い「**共助**」が重要となります。



本年もよろしくお願いいたします

昨年はお忙しい中、青少年育成活動にご協力いただき、ありがとうございました。本年も引き続き、よろしくお願いいたします。

令和5年度青少年健全育成県民大会 が行われました



12月16日(土)に、佐久市コスモホールにて長野県青少年健全育成県民大会が行われました。これは、県内の青少年健全育成に携わる関係者が一堂に会し、「**青少年は地域社会から育む**」という観点から、県民の理解と協力を得ながら青少年健全育成運動を推進していくために開催されています。当日は、表彰式や作品発表の他、「佐久平地域まるごとキャンパス事業」の現状報告が行われました。この事業は、佐久地域に住む、または通学する高校生・大学生等が、企業や市民活動団体が提供する活動プログラムに参加し、地域のことを学びながら、地域が抱える問題を地域の人と一緒に考えていく活動のことです。参加している学生さんからは、学校の枠を超えた人との交流が楽しい、将来は地元企業で働きたいなどの意見が挙げられ、活動を通して地元への愛着が生まれ、将来の就業へのきっかけづくりとなっている様子を感じられました。

令和6年塩尻市二十歳のつどい が行われました

1月7日(日)に、レザンホール大ホールにおいて「**令和6年塩尻市二十歳のつどい**」が開催されました。民法の改正により成年年齢が18歳に引き下げられたことで、昨年から「二十歳のつどい」と名称が変更されて開催されています。

この日は、平成15年4月2日から平成16年4月1日までに生まれた20歳の人たちを対象に、記念式典や写真撮影が行われました。



《記念式典》



《地区ごとの記念撮影》



今回の式典では、2名の実行委員が進行を行い、最初に1月1日に発生した能登半島地震の犠牲者に黙とうを捧げました。その後、市長からの挨拶、祝電披露等があり、記念行事ではビデオメッセージの上映が行われました。式典終了後も、小雪が舞う中久しぶりに再会した友人との話に花が咲き、写真撮影などを楽しむ姿が見られました。コロナ禍に学生生活を送り、部活の大会や学校行事が軒並み中止になる状況を経験してきた中で、こうして仲間との再会を喜ぶ姿からは、笑顔とともにどこかたくましさも感じられました。

平成15年度はこんな年でした

- 中国各地で重症急性呼吸器症候群(SARS)が流行
- 阪神タイガース 18年ぶりリーグ優勝
- 北海道十勝沖地震発生
- 東海道新幹線品川駅が開業
- 更埴市、戸倉町、上山田町が合併し千曲市に

【お知らせ】

令和5年10月～12月に実施した班活動の活動報酬は、1月末頃振込み予定です。明細はがきが届きますので、ご確認ください。

社会教育スポーツ課 共生推進係
TEL 0263-52-0894

